



題 字  
初代会長 松野盛吉  
定 価 1部 5円  
(購読料は年会費を含む)  
発行人  
〒010-0951  
秋田市山王四丁目1番2号  
秋田地方総合庁舎内  
秋田県消防協会  
会長 中泉 松之助  
電話 018-867-7320  
FAX 018-863-5910  
E-mail:ask@biscuit.ocn.ne.jp

印 刷  
〒010-0951  
秋田市山王7丁目5-29  
株式会社 松原印刷社  
電話 018-862-8760

# 第四六回 秋田県消防操法大会

## 総合優勝は男鹿潟上南秋支部

第四六回秋田県消防操法大会は九月三日(木)、由利本荘市の秋田県消防学校放水訓練場で行われ、県内九支部の予選を勝ち抜いてきた小型ポンプ操法の部九分団、ポンプ車操法の部七分団が出場し、この大会を目指しての厳しい訓練の成果を発揮した。



開会式 国旗に正対する団員

限界まで訓練を続けてきた皆さんに敬意を表するとともに、陰になり日向になり激励し、支えてこられた家族の皆様にも感謝申し上げます。この操法大会は、消防団員と女性消防隊員の消防技

開会式では、前年度小型ポンプ操法・ポンプ車操法の両部門で優勝した三種町消防団から優勝旗が返還された後、秋田県堀井啓一副知事と秋田県消防協会中泉松之助会長が主催者あいさつをした。中々中泉会長は、「今日のこの大会に向け、仲間とともに体力、気力の



選手宣誓

引続き、秋田県議会小田美恵子副議長の来賓あいさつ、秋田県消防学校松田博学校長の審査長あいさつが行われた後、昨年度総合優勝の能代市山本郡支部を代表して三種町消防団琴丘支団第一分団の畠修晋班長が「私たちは、各支部代表として出場できましたことを、この上もない名誉であり、また、誇りとす

術の向上、士気の高揚を図ることを目的に、昭和三七年に開催して以来、毎年開催し今年で第四六回を迎えた。皆さんには、大会の目的、歴史を再度確認され、正々堂々と全員が納得のいくよう頑張ってください」と出場団員を激励した。



中泉会長 優勝旗授与

小型ポンプ操法の部では由利本荘市消防団鳥海支団第三分団、ポンプ車操法の部では大潟村消防団第三分団、総合の部では男鹿潟上南秋支部がそれぞれ優勝し、優勝旗、カップ等が授与された。

表彰  
来る十月二二日横浜市で開催される全国女性消防操法大会に、本県代表として出場する秋田市女性消防隊(「支部情報アラカルト」を参照)が軽可搬ポンプ操法を披露した。



小型ポンプ操法の競技

るものであります。この名誉を傷つけることなく、規律に則り正々堂々と競技し、消防精神の真価を発揮することを誓います」と力強く宣誓し、消防操法の競技に入った。

平成二十一年度全国統一防火標語  
『消えるまで ゆっくり火の元に いらめっ子』

成績	出場隊名	計 時		総得点
		第1線 (55秒)	第2線 (65秒)	
優勝	大潟村消防団第3分団	52'58	62'80	161.0
第二位	大館市消防団比内第1分団	52'03	63'27	159.0
第三位	小坂町消防団第4分団	54'64	64'18	157.0
優秀賞	三種町消防団琴丘支団第1分団	51'36	63'20	154.5
	にかほ市消防団第3分団	53'68	66'68	146.5
	横手市十文字消防団第3分団	53'30	64'48	146.0
	秋田市消防団保戸野分団	54'51	62'62	139.5

〔ポンプ車操法の部〕

成績	出場隊名	計 時		総得点
		基準タイム (45秒)		
優勝	由利本荘市消防団鳥海支団第3分団	42'77		83.5
第二位	鹿角市消防団第5分団	42'19		80.0
第三位	潟上市消防団飯田川支団第2分団	43'07		79.5
優秀賞	大仙市消防団大曲支団第2分団	43'68		79.5
	東成瀬村消防団第1分団	43'71		77.5
	横手市十文字消防団第3分団	45'39		77.0
	大館市消防団比内第2分団	42'47		74.0
	能代市消防団二ツ井第6分団	44'03		70.5
	秋田市消防団四ツ小屋分団	45'57		59.0

■成績  
〔小型ポンプ操法の部〕



# 消防殉職者 全国慰霊祭

第二八回全国消防殉職者慰霊祭は九月十日(木)東京都港区虎ノ門「日本消防会館ニッショーホール」で、全国からご遺族、消防関係者など約六〇〇名が参列し、厳粛かつ盛大に行われた。

慰霊祭は、新たに合祀された九柱を含む五・四〇五柱の御霊を奉納した後、片山日本消防協会会長が「消防の使命に殉じられた数多くの御霊に対し、謹んで哀悼の誠を捧げる。我々一同は御霊のご遺訓を休し、心を新たにさらに団結を強め、強靱な消防精神をもって、事故防止に万全を期しつつ郷土防災に力を尽くす」と式辞を述べ、続いて、麻生内閣総理大臣が「新たに祀られた九柱の御霊は、消火活動中や災害出動中などに、住民の方々を守るため、命を捧げられた。こうした勇敢な方々を失ったことは、ご遺族はもちろんです。社会にとっても誠に大きな痛手である。



献花を行う藤井様と石田様

私たちは、御霊の尊い犠牲を無駄にすることなく、そのご遺志に応えるため、災害に強い安全で安心な国づくりにも力を尽くす。改めて、御霊のご冥福とご遺族の皆様のご健勝を祈念する」と追悼の言葉を述べられた。

献花は、本県からは中泉秋田県消防協会長と遺族代表として横手市大森町の藤井俊子様、静岡県東伊豆町の石田巖様が行った。

### ■出席したご遺族

石田 岩太郎	中村 洋子	遺族氏名	藤井 俊子	殉職者氏名	藤井 長太郎
	中村 勝美		照井 富夫		
	照井 恭子				



出席したご遺族と中泉会長

## 初任教育・修了式

秋田県消防学校

初任教育第六三期の修了式が九月八日(金)、由利本荘市の秋田県消防学校で、修了生のご家族とご来賓約一六〇名が出席して行われた。四月に入校した七三名は、全員揃って六ヶ月間の厳しい訓練で一段と逞しくなった様子で修了式を迎えた。



修了証書の授与

修了式では、まず松田学校長が修了生一人ひとりに修了証書を授与した後、成績優秀者として優秀賞二名、努力賞七名、功労賞五名を表彰した。引き続き松田学校長が式辞で「皆さんが本格的な消防人生を歩み出すに当たり、その心構えについて話したい。一点目は『雑務を厭うな』ということ。消防組織は二四時間体制で災害に備えており、多くの雑務がある。この雑務がきちんと行われなければ消防活動が円滑にできないので雑務を厭わないで下さい。二点目は『自律心を持ち続け』節義をもって消防人生を歩んでほしい。そして三点目は、お互いに『人生意気に感じ』た、いい仕事をしてもらいたい」と最後の言葉を贈った。秋田県堀井副知事のあいさつ後、秋田県消防

修了式では、まず松田学校長が修了生一人ひとりに修了証書を授与した後、成績優秀者として優秀賞二名、努力賞七名、功労賞五名を表彰した。引き続き松田学校長が式辞で「皆さんが本格的な消防人生を歩み出すに当たり、その心構えについて話したい。一点目は『雑務を厭うな』ということ。消防組織は二四時間体制で災害に備えており、多くの雑務がある。この雑務がきちんと行われなければ消防活動が円滑にできないので雑務を厭わないで下さい。二点目は『自律心を持ち続け』節義をもって消防人生を歩んでほしい。そして三点目は、お互いに『人生意気に感じ』た、いい仕事をもらいたい」と最後の言葉を贈った。秋田県堀井副知事のあいさつ後、秋田県消防



中泉会長祝辞



答 辞

協会中泉会長と秋田県消防長会加藤会長(代理高橋副会長)が祝辞を述べた。

中泉会長は「この半年間、苦楽をともにした七三名の絆を大切にし、さらには職場での絆、地域との絆も深められ、一人一人が自分の夢の実現に向けて日々消防技能の錬磨に努め、地域は自分を守るという確固たる気概と卓越した技能を身につけることを望む」と修了生を激励した。最後に北秋田市消防本部の佐藤宏樹消防士が「私たちは、ここで七三名の何ものにも代えられない仲間と出会い、この半年間喜びは七三倍、悲しみは七三分の一という気持ちで協力してやってきた。消防学校で身につけた知識、技術、団結力の全てを活用し、かけがえない住民の生命、身体、財産を災害から守るべく邁進する」と力強く答辞を述べた。

式終了後、修了生は中庭に集合し、寝食をとるとともに、苦楽もともにした七三名が帽子を放り上げ、修了の喜びを爆発させ、所属本部に帰ってからの健闘を互いに誓い合っていた。



修了の喜びを爆発させる学生



### 第五回 消防団員 意見発表会(二)



**柏木 義行**  
鹿角市消防団員  
勤続三年  
会社員

#### 「兄弟で消防団員」

私が、消防団に入団したのは、今から三年前の平成十八年四月。

「社会人になったら、直ぐにでも消防団に入りたい」と小さい頃から思っていた私でしたが、高校三年生の時に病を患い、自分の健康に自信がもてなくなってきた私は、入団に戸惑いを感じていました。

そんな私に、地域の消防団の幹部の方から、「消防団には、いろんな役割があるから、できることから、まず、やってみてはどうか」と後押しされ、「地域のために、少しでも役に立ちたい」と入団を決意したのでした。

一方、私の兄は、私が入団する四年前、父が退団した翌月に入団しており、私が入団したことによって我が家では「兄弟で消防団員」という生活がはじまりました。

私たち兄弟が消防団員になろうとしたきっかけは、消防団員であった父親の存在です。

仕事をしながら、たとえ疲れていても、それが真夜中であろうとも、サイレンが鳴れば火災現場に駆け付ける父

の姿。幼い頃、母に連れて行ってもらった操法大会で、選手として頑張っている父の姿を見て、「自分達も大きくなったら、消防団員になりたい」といつしか思うようになったのです。

兄弟で、消防団員になってからは、いろんな人達と出会い、そして、自分よりも年上の方とも交流できる今の生活は楽しく、充実していて、また、いろんな経験を積み重ねることで、少しずつではありますが、「自分を成長させてくれている」と感じていきます。

そんな中、私たち兄弟は、とても良い経験をさせてもらう事ができました。それは、昨年、東京ビックサイトで開催された全国消防操法大会を視察させてもらったことです。

各県を代表する出場隊は、その一挙手一投足に無駄がなく迅速で、しかも正確で、今まで、自分達が描いていた操法とは大きな差があることを、直接この目で見て感じ、私たち兄弟は、「いつか自分達で、必ずこの全国大会に出場しよう」という目標を持つことができました。

そして、今年も六月に入り操法の訓練が始まると、小型ポンプ操法の一番員を務める兄は、訓練を繰り返す度に、昨年ダメだった動作を私に確認させ、出来具合を私に聞いてきます。

その姿を間近で見ている私は、「一日も早く、一緒に選手になって、必ず、兄弟で全国大会に出場したい」と強く思いました。

また、消防団の先輩方への感謝の気持ちを守るべく、地域での安全と安心を守るため、「今、自分ができる

こと」から実行し、消防団員として頑張っていきたいとも思っている今日この頃です。



**藤田 久悦**  
北秋田市消防団分団長  
勤続三十五年  
通信設備業

#### 「みんなに送信」

さて、昨年ですが、管轄する地元町内で火災が発生しました。駆けつけた団員とポンプ車で緊急走行する中、また火災の発生を知らないでいる団員に電話を掛けました。なかなか連絡がつかず、ようやく電話がつながると、団員からは「どこ火事だつて？何から火出だつて、隣はえが、えま向がう」矢継ぎ早の質問攻めで一人ひとりへの連絡に相当の時間が掛かり、結局連絡がついたのは僅かに二人だけでした。幸いなことに、現場近くにいた団員が先に到着していましたので、急ぎ消火にあたったところ住家一棟全焼で済み、延焼無し、死傷者無しでホッとした記憶があります。

引き続き現場に待機し、警戒を続けていると、そのうち二人、三人と火災を知った団員が集まって来たのですが、「もっと早く連絡が欲しかった」「分団長に電話を掛けたが通じなかった」「消防署は話中だった」「場所がわからず苦労した」などの声が上がりました。後日、地区の訓練大会出場の話の中で「火災・災害時等の連絡体制を考

るべき」との意見が出され、話し合いをしたところ、ある若い団員から「会社勤めが多く、車を運転している時は電話に出られないこともあるが、メールなら対応できるのではないか」との意見が出されました。

なるほど、善は急げと言います。ならば、と全団員からアドレスを覚えてもらったところまでは良かったのですが、ある団員から「で、その連絡メールは誰がおくるのや？」ともっともな疑問が出され、今度はそれについて話し合いました。

実は、私の勤務先は消防署から直線距離三百メートルの所にあり、サイレンや放送が非常に良く聞こえます。案の定、「分団長、ちけてつてねっけか」そのまま「適任」との声が多く出たので、これを引き受けることにしました。

後日、パソコンに団員の携帯アドレスの入力をし終えたので、早速「テスト みんなに送信」「火事・俺の家・出動」でテスト送信してみました。結果は思惑通り、ごく短時間で全分団員に周知することができ、その後も何度かテストし、スムーズにいくことを確認しております。

今では一ヶ月に一度くらいの割合でテスト送信を行い、分団員の意識合わせをしています。

さて、使い古された感のある言葉ではありますが、災害はいつも唐突にやってくる。その時に備えて、今からまた送信テストでも行おうかと思えます。

「テスト！みんなに送信！」

# 支部情報アラカルト

## 秋田市女性消防隊

### 全国女性消防操法大会出場

秋田市消防本部

秋田市女性消防隊は、来る十月二二日(木)横浜市で開催される第一九回全国女性消防操法大会に、秋田県代表として出場する。



秋田県消防操法大会での操法

動作、チームワークの良さなどに訓練の成果を存分に発揮していた。

彼女たちは「日々の暮らしの中で地域とのつながりの大切さに気付き、地域のために、自分も何か役立つことができなかつた」と、「消防団で何かできることがあるのではないかと考えた」と消防団入団の動機を語ってくれた。操法訓練については「操法をするとは思わなかつた」「最初、操法を見たときにその動作に驚いた」が「自衛隊のような動きで始めはぎこちなくなつたけれど、段々と声を出せるようになり、形ができるようになってきて楽しくなつた」とこれまでの訓練を振り

同隊は、全国大会出場のため五月から軽可搬ポンプ操法の訓練を始め、これまでの成果を去る九月二日(木)の秋田県消防操法大会で披露し、迅速な行動や確実な

返つていた。全国大会出場については「みんなで元気によく大きな声を出し、心を一つにして頑張る」と力強く抱負を述べられた。



円形で行う規律訓練

また、同隊の指導に当たっている秋田市消防本部警防課の伊藤弥真彦消防司令は「軽可搬ポンプ操法は土気・規律、敏捷性、確実性が求められる。これまでの訓練では敏捷性と土気・規律を優先して行ってきた。例えば、速い動きを体で覚えてもらうため、器具を使わずイメージだけで行う『エア操法』。全員の動きが見えるように円形で行う規律訓練、等々。ここに来て指導陣が目指した形ができるようになったと思う。全国大会まで後一ヶ月。これからは確実性を高める訓練が中心となる。彼女たちならきつと完成した形で大会に臨める。『頑張れ!!絶対できる』と大きな期待を寄せたい。



秋田市女性消防隊の皆さん

秋田市女性消防隊の皆さん、全国大会での活躍を祈っております。頑張ってください。

## 株式会社 タカギ

秋田県横手市寿町1番28号  
TEL (0182) (32)3880

### (営業種目)

- |            |         |
|------------|---------|
| 日本機械自動車ポンプ | キンパイホース |
| トーチポンプ     | シバラポンプ  |
| 各種消防機械器具   | 各種消火器   |
| 消防設備保守点検   |         |

ホームページ <http://www.17.ocn.ne.jp/~takagi/>  
E-mail [ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp](mailto:ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp)

トーチポンプ  
モリタ自動車ポンプ  
消防被服全般  
秋田県代理店

## 株式会社 高義商会

- (営業種目)
- トーチ小型動力ポンプ
  - モリタ自動車ポンプ
  - ジェットホース
  - 消防被服全般
  - 火災報知器各種
  - 消火器各種



〒012-0105 本社 湯沢市川連町字万九郎屋布32  
TEL(0183)(42)2125  
〒012-0844 湯沢市田町TEL(0183)(73)2588

森田ポンプ ラビットポンプ  
桜ホース・ソフト吸管 消防被服一式  
各種消火器 消防機器一式

## 株式会社 協立 株式会社 能代消防センター

〒016-0846 能代市栄町12の3  
TEL (0185) (52)6361  
(52)6494

地域の防災、災害対策に貢献!



## 猿田興業株式会社

秋田市山王六丁目10番9号 TEL 018 (863) 1551(代)  
猿田興業ビル7F FAX 018 (824) 3651